

平成 30(2018)年度 一橋大学大学院社会学研究科 地球社会研究専攻 博士後期課程編入学学生募集要項

地球社会研究専攻は、地球規模の諸課題に取り組む研究者や高度専門職業人をめざす皆さんに開かれた大学院です。本専攻の基本方針は次の三点です。

1. Issue Focused: 個別の学問領域を出発点とせず、現実の問題に焦点をあて、フィールドから思考を立ち上げ、世界を解く。
2. Solution Oriented: 問題の分析に留まらず、新しい次元の観点、思考、思想を提示し、問題の解決を志向する。
3. De-Eurocentric: 従来の西洋中心的思考を乗り越え、複数の中心が呼応する地球社会の新しい発想をめざす。この基本方針のもとに、次の四点、1) Security (安全) 2) Sustainability (持続性) 3) Creativity (創造性) 4) Identity (アイデンティティ) を研究と教育の中心におき、地球社会と人々の生活の質の向上を追求します。

本専攻のカリキュラムは、文化、越境、平和、メディア、環境 の五つの重点領域を基盤に理論面から問題を追求する「基幹講義群」と、問題への実践的アプローチおよびメディア技術等を学ぶ「実践科目群」の二つがあります。さらに指導教員と少人数の受講生による演習(ゼミ)に加え、外国から招く第一線の客員教授陣、三菱総合研究所・日本国際問題研究所・国際交流基金・国際協力機構との連携協定を備えています。

(詳しくは、地球社会研究専攻ウェブサイト <http://isgi.soc.hit-u.ac.jp/> をお訪ねください。)

1. 募集人員 若干名

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 他大学の大学院を修了した者及び平成 30 年 3 月に修了見込みの者
- (2) 専門職大学院の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月に修了見込みの者
- (3) 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 30 年 3 月に授与される見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者
- (5) わが国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和 51 年法律第 72 号) 第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 才に達した者及び平成 30 年 4 月 1 日までに 24 才に達する者
- (9) 所定の手続きにより、本研究科において、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

注 1) 出願資格 (3) または (9) による志願者は、必ず 11 月 24 日までに社会学研究科事務室あてに、出願資格についてあらかじめ問い合わせてください。

注 2) 出願資格 (8) による志願者は、出願期間前に個別の入学資格審査を行います。個別の入学資格審査に必要な書類等を本要項の配布開始日から 11 月 24 日までの期間に配布しますので、社会学研究科事務室に問い合わせてください。個別の入学資格審査に必要な書類の提出期間は、11 月 20 日(月) から 11 月 24 日(金) までです。入学資格審査結果は 12 月 8 日(金) 頃に通知する予定です。

3. 出願期間

平成 30 年 1 月 12 日(金) ~ 1 月 16 日(火)

受付時間は 10 時から 12 時、および 13 時から 15 時まで。

土曜日・日曜日・祝日は受け付けません。

4. 出願書類・検定料

書 類 等	提 出 者	摘 要
写 真 票	全 員	1 通。所定の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
入 学 志 願 票	全 員	1 通。所定の用紙に必要事項を記入してください。
修 士 論 文 等	全 員	修士論文を複写したもの 3 通。ただし、修士論文を提出せず、修士の学位に相当する学位を授与された者または授与される見込みの者については、修士論文に代わる論文 1 篇の複写 3 通。なお、修士論文等の内容と博士後期課程での研究題目が大きく異なる場合は、修士論文に加えて、日本語または英語で作成した補充論文の提出を認めます(この場合も、3 通を提出してください)。

修士論文等の要旨	全 員	修士論文あるいは修士論文に代わる論文の日本語要旨（4,000 字程度）または英語要旨（1,600 単語程度）4 通。ただし、修士論文あるいは修士論文に代わる論文が、日本語または英語で書かれていない場合には、日本語要旨を 10,000 字、あるいは英語要旨を 4,000 単語とします。補充論文を提出する場合には、補充論文の要旨 4 通（日本語 4,000 字程度または英語 1,600 単語程度）も提出してください。A4 判の用紙を用い、表紙をつけ、「論文要旨」、論文名、および氏名を明記してください。
研究計画書	全 員	日本語または英語のもの 4 通。1 通については所定の用紙を表紙として用い、他の 3 通は、表紙も含めてそれを複写したもの。 日本語の場合は A4 判用紙（1 枚約 1,200 字）で（表紙を含めず）5 枚程度。英語の場合は A4 判用紙にダブルスペースで 2,400 単語程度。なお、表紙には入学後に指導を希望する教員名を記してください。
修士課程修了（見込）証明書	全 員	出身大学の長または研究科長が作成したもの 1 通。 「2. 出願資格」(3) または (4) による志願者は、取得した学位（M. A. または M. S. 等）を明記した証明書 1 通をあわせて提出してください。ただし修士課程修了（見込）証明書に M. A. または M. S. の取得（見込）に関する事項が記載されている場合は修士課程修了（見込）証明書をもって代えます。
成績証明書	全 員	1 通。出身大学の長または研究科長が作成したもの。
在留カードの写し等	外国人志願者	1 通。在留カード（または外国人登録証明書（在留期間、在留資格が明記されたもの））の写しを提出してください。ただし、在留カード（または外国人登録証明書）が交付されていない者については、パスポートの写しを提出してください。
受験票送付用封筒	全 員	1 枚。長形 3 号封筒（23.5cm×12cm）に簡易書留相当分（392 円）の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の住所、氏名を明記してください。ただし、 本人が直接持参して出願する場合は不要です。
検定料 30,000 円	全 員	原則として 出願期間内 に 三井住友銀行 国立支店の 口座名：国立大学法人一橋大学社会学研究科 検定料口 口座番号：（普通預金）7761819 あてに検定料 30,000 円分を振り込み、 その明細書等の写しを出願書類と一緒に提出してください。 なお、日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書を提出してください。

注 1 複数の大学院を修了（見込）の場合は、すべての大学院における「修了（見込）証明書」「成績証明書」を提出してください。

注 2 提出書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語訳を添付してください。

注 3 外国の証明書で複写したものしか提出できない場合は、大使館等公的機関で原本証明されたものを提出してください。なお、中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館は、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の文書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証を発行しません。中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の公証・認証手続きは、中国国内の教育部学歴認証センター（北京市）又は各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において行われます。また、教育部学歴認証センターは、郵便による海外からの認証手続きの申請も受け付けています。中国国内の教育機関卒業（見込）・修了（見込）の方は、早めに手続きを開始するようにしてください。

注 4 成績証明書や卒業証明書が旧姓で発行される場合、戸籍抄本を添付してください。

5. 出願手続

志願者は、上記出願書類を一括し、封筒の表面左下に「**大学院出願書類在中**」と朱書し、**郵送（書留郵便）または持参**により

〒186 - 8601 東京都国立市中 2 丁目 1 番地 一橋大学大学院社会学研究科事務室

宛てに提出してください。

出願期間（平成 30 年 1 月 12 日～ 1 月 16 日）内必着です。（なお、持参の場合は、15 時まで受け付けます。郵送の場合、1 月 16 日（火）は 17 時必着です。）

郵送の場合、出願期間を過ぎて着いたものについては、1 月 13 日（土）以前の消印があるものに限り受け付けます。

また、外国からの出願を希望する場合は、この「5. 出願手続」ではなく、別紙「外国からの出願方法について」に記載されている方法にしたがって出願してください。

6. 選考方法および選考基準

第 1 次試験では、提出論文および出願書類に基づき、受験者の研究水準、研究課題の学術的重要性、本専攻との適合性、研究計画書の実行可能性を審査します。受験者の研究課題を指導できる教員がいることも審査の基準です。第 1 次試験の合格者に対して第 2 次試験を行います。

第 2 次試験では、面接による口述試験を行います。そこでは提出論文および出願書類にそって、研究上の理解力・説明能力、研究遂行能力等を基準に審査します。併せて、受験者の研究に必要な外国語の試験を面接時に行います。第 1 次試験と第 2 次試験の結果を総合し、最終合格者を決定します。

試験ごとの配点は、以下の社会学研究科ウェブサイト「大学院入試 Q & A」に掲載されています。

http://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/gs/faq_ss.html

(1) 第1次試験（書類選考）

第1次試験合格者発表および第2次試験（口述試験）試験室・時間割の発表

日	時	発表方法
2月16日（金）	13時	大学内掲示場（法人本部棟南側）への掲示およびウェブサイトへの掲載（URLは出願者に通知します）

(2) 第2次試験（口述試験） **※必ず受験票を持参してください。**

試験場 一橋大学（JR中央線 国立駅下車、南へ徒歩約10分）

日	時	試験科目
2月20日（火）または 2月21日（水） 9時30分～18時頃		提出論文および研究計画書に関する事項等について試験を行います。併せて、受験者の研究に必要な外国語の試験を行います。（1人70分程度）

7. 合格者発表

日	時	発表方法
2月28日（水）	13時	大学内掲示場への掲示およびウェブサイトへの掲載（合格者には郵送にも通知します。）

8. 入学手続

(1) 入学料の納入期間

平成30年3月2日（金）～3月8日（木）

この期間内に納入がない場合は入学辞退者として取扱います。

(2) 入学料の納入額 282,000円

(注) 本学には入学料の免除・徴収猶予の制度がありますので、希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請を行ってください。（入学料納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください。）

(3) その他

入学手続きに必要なその他の提出書類とその提出期間については、合格者に改めて郵送にて通知します。授業料（年額535,800円）については、入学後に納入することになります。納入時期・納入方法については改めて通知します。

上記納入金額は予定額であり、在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用されます。

9. 注意事項

(問い合わせについて)

(1) 入学試験に関する事務は、すべて社会学研究科事務室で行います。

(2) 社会学研究科ウェブサイトの「受験生の皆さんへ」欄には、「Q&A」が用意されています。その他、入学試験に関する照会は、住所、氏名を明記のうえ、書面または電子メールで行ってください。電話での問い合わせには応じられません。http://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/gs/faq_gi.html

(専攻について)

出願後の志望専攻の変更は認めません。また、地球社会研究専攻に所属する教員以外の教員を指導教員（第一演習担当教員）として選ぶことはできません（「演習担当教員一覧」参照）。

(提出書類について)

(1) 志願者が記入する出願書類は、すべて印字または黒のボールペンで記入してください。

(2) 出願書類および検定料は返却しません。また、「4. 出願書類・検定料」において明記されている場合を除き、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません。

(身体に障害を有する入学志願者の事前相談について)

身体機能に障害があり、受験時や入学後の学習に特別な措置を必要とする志願者は、その旨を出願期間前に社会学研究科事務室に申し出てください。申し出したが、必要の措置を講じません。なお、この申し出によって不利益を被ることはありません。

(プライバシー・ポリシー)

入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。

(国際学生館景明館及び国際学生宿舎（学生寮）について)

本学国際学生館景明館及び国際学生宿舎（学生寮）への入居希望者は、平成29年12月中旬に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。

http://hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html

社会学研究科 ウェブサイト	http://www.soc.hit-u.ac.jp/
社会学研究科 電子メールアドレス	info@soc.hit-u.ac.jp

※ アドミッション・ポリシーについては以下のページをご覧ください。
http://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/

平成 30(2018)年度
一橋大学大学院社会学研究科
地球社会研究専攻の科目について

本学大学院社会学研究科地球社会研究専攻には、次の科目があります。

【基幹講義群】

科目群名	授業科目名	担当教員名
文 化	地球社会文化論	* 足 羽 與志子
	文化の受容と編成	* 赤 嶺 淳
	価値生成論	非 常 勤 講 師
	文明と周辺社会	春 日 直 樹
	多文化社会の人間形成	* 太 田 美 幸
越 境	グローバル化と移動社会	* 多 田 治
	世界都市論	町 村 敬 志
	エスニシティ論	未 定
	地球社会と地域政策	猪 飼 周 平
平 和	グローバル化と教育	* 太 田 美 幸
	平和の思想	* 足 羽 與志子
	国際正義論	* 福 富 満 久
	戦争と社会	吉 田 裕
	トラウマと地球社会	* 宮 地 尚 子
	平和とジェンダー	佐 藤 文 香
メ デ ィ ア	地球市民とジェンダー	非 常 勤 講 師
	グローバル・メディア論	* 多 田 治
	文化表象論	非 常 勤 講 師
	Online Media Studies	* ジョナサン・ルイス
環 境	Media Research Methods	* ジョナサン・ルイス
	地球社会と生命	* 宮 地 尚 子
	地球環境と地域社会	* 赤 嶺 淳
	発展途上国の諸問題	児玉谷 史 朗
	開発援助の諸問題	児玉谷 史 朗
	環境研究の自然科学的基礎	* 大 瀧 友里奈
地 球 社 会 研 究	宇宙・地球・人間	* 大 坪 俊 通
	地球社会研究 I	専 任 教 員
	地球社会研究 II	* 福 富 満 久
	地球社会の思想	加 藤 泰 史
	Topics in Global Studies IIA	客 員 教 員
	Topics in Global Studies IIB	客 員 教 員
地球社会博士特論	専 任 教 員	

【実践科目群】

科目群名	授業科目名	担当教員名
連携大学院実践科目	環境をめぐる問題と実践	客 員 教 員
	文化交流の技法と実践	客 員 教 員
	国際協力の実務と方法	客 員 教 員
	デジタルメディアの実践 I	客 員 教 員
	デジタルメディアの実践 II	客 員 教 員
	社会科学の統計	非 常 勤 講 師
	インターンシップ I	専 任 教 員
	インターンシップ II	専 任 教 員
リサーチ実践	リサーチ演習 I	専 任 教 員
	リサーチ演習 II	専 任 教 員
プロジェクト実践	地球社会特別演習 I	客 員 教 員
	地球社会特別演習 II	客 員 教 員
	プロジェクト演習 III	専 任 教 員

担当教員名欄の*印は第一演習担当教員

平成30(2018)年度
一橋大学大学院社会学研究科地球社会研究専攻
演習担当教員一覧

(※印のある教員は平成30年度の第一演習を担当しません。)

- 赤 嶺 淳 教授 (グローバル地域研究・地球環境学) eng
- 足 羽 興志子 教授 (平和 社会論・文化人類学) eng, sin
- 太 田 美 幸 教授 (地球市民論・教育社会学)
- 大 瀧 友里奈 教授 (水 環 境 学)
- 大 坪 俊 通 教授 (地球情報論・地球科学)
- ※ 児玉谷 史 朗 特任教授 (国際協力論・開発研究)
- 多 田 治 教授 (社会学・歴史・理論・観光・沖縄・文化研究)
- 福 富 満 久 教授 (国際政治学・国際関係論)
- 宮 地 尚 子 教授 (文化精神医学) eng
- ジョナサン・ルイス 教授 (政治学・社会情報学・メディア研究) eng

指導可能な言語に関する記号一覧

deu ドイツ語、eng 英語、fra フランス語、hun ハンガリー語、

kor 韓国語、sin シンハラ語、zho 中国語

なお、博士号の学位請求論文は日本語もしくは英語で執筆するものとされています。